



橋本力也 さん
(御所浦町)

キラリ天草人

竹あかりで
つなぐ人の和

竹に鮮やかなデザインを施し、ろうそくやLEDライトを使って明かりを灯す「竹あかり」の制作を通して町づくりに取り組んでいるのが橋本力也さんだ。

10年ほど前、ボランティアで福島県を訪れていたときに、熊本を拠点に全国各地で竹あかりを通じた町づくりなどを行う会社と出会った。町を盛り上げるとともに、現地の竹を使うことで自然の循環にもつながることに共感し、制作を始めた。

2年半前御所浦町に帰郷して、養殖会社に勤務した橋本さんは、仕事終わりや休日を使って制作をしている。竹あかりの作り方は簡単で、電動工具や錐で穴を開けて作る。作り方を覚えれば誰でも気軽に作る事ができるため、見る側から作る側に回りやすいことが魅力の一つだ。

以前は福岡県などで制作してきたが、御所浦町では2年前、地元の大太鼓グループから「神社に竹あかりを飾りたい」という要望があり、作り方を指導する役割として携わった。これまで指導した人は100人を超える。昨年は、3メートルほどの高さがある竹を使って制作したものを同町の観音公園に設置したことも。竹に水気がある方が温かみのあるオレンジ色の明かりになることから、一度使用した竹は再利用せず、切ったばかりの竹を使うことにこだわりの竹を持っている。完成したものは処分する、その儚さも良いそうだ。

制作には時間や労力がかかるだけでなく、天候に左右されるなどの苦労もあるが、見た人から「きれいで感動した」と言ってもらえることがやる気につながっている。

竹あかりを身近に感じ



▲▼制作した竹あかり



てもらうため、見に来ている人たちに声を掛け、設置を手伝ってもらったり、明かりを灯す作業をしてもらったりしている。「竹あかりを作ってきたことで、多くの人たちと知り合い、触れ合うことができた」と笑顔で話す橋本さん。制作中

声を掛けてくれたり、差し入れを持ってきてくれたりする人がいて、地元の人々の温かさを感じているそうだ。

子どもから高齢者まで多くの人が竹あかりを通じて交流できる場を作りたいと、やる気に火を灯している。



「牛深西港の落陽」
吉川 茂文 (天草市)

入選

- 永田 隆一 (天草市)、森田 東太郎 (天草市)、福永 亮二 (熊本市)
- 三嶋 大我 (天草市)、杉本 聖樹 (天草市)、赤星 恭介 (玉名市)
- 衣川 利夫 (天草市)、谷川 秀嗣 (宇土市)、坂井 賢司 (菊陽町)、濱石 のり子 (天草市)



「夕照」 日當 國親 (八代市)



「明日への願い」 宮部 智 (熊本市)

プリント部門

天草西海岸 入賞作品決定 夕陽・夕景フォトコンテスト

「天草夕陽八景」を中心とした天草西海岸地域(牛深・天草・河浦地域)の夕陽・夕景をテーマに、フォトコンテストを開催しました。プリント作品が対象となる「プリント部門」では、212点(61人)、Web応募の「データ部門」では、129点(53人)の応募があり、1月21日に行った審査会で入賞作品を決定しました。

最優秀賞、優秀賞の作品と入賞者を紹介します。(敬称略、順不同)

データ部門



「夕景」 沖田 愛子 (宇城市)



「マリア像を撮る人たち」 山下 千栄子 (天草市)



「ふたり」 高木 幸一郎 (合志市)

入賞作品と展示場所は
こちら市ホームページ▶



観光振興課 ☎ 32-6787